

平成27年度 一般会計予算

198億8800万円

予算審査特別委員会で4日間集中審査し、委員間討議を行い、可決しました。

予算審査特別委員会に付託された議案第27号、平成27年度小郡市一般会計予算外7件の承認については、3月5日、6日、9日及び10日の4日間、審査を行いました。委員間討議を中心に論点を整理して報告します。

公共施設等の整備

【委員間討議】

交通安全施設や道路側溝の整備予算について、区からの要望に対する優先順位づけの方法やこれまでの要望をどのように整理しているかが分かりにくく、現状と今後の方針について説明を受けたいという意見が出されました。

【意見への説明】

現在、側溝整備については、地元からの要望を受けて市の方で緊急性を判断し、予算等を見ながら行っています。特に早い時期に建設された4つの団地では側溝の蓋がかかっている状況です。このような全体の事業量を把握できる

ものについては、今後も積極的に前年度以上の整備ができる様に取り組んでいきます。また、各行政区から出される要望関係のルール等については、年度当初に開催する新区長の研修会の中で説明したいと思いますとの説明がありました。



駅前モニュメント

【委員間討議】

駅前モニュメントのメンテナンス予算について、いずれれモニュメントを取り壊すとの話もあります。しかし、毎年80万円から100万円程度の維持管理費が予算化されていますので、このモニュメントに関してはこちらと方向性を示すべきではないかという意見が出されました。

【意見への説明】

駅前モニュメントについて

は、噴水部分のポンプ設備が老朽化により使用できない状態であり、撤去を検討しているところです。

キラメキの塔自体を撤去する事は現在検討段階に入っておりませんが、維持管理経費の予算執行については必要最小限で考えていきたいとの説明がありました。



▲西鉄小郡駅前広場モニュメント

プール

【委員間討議】

宝城中学校のプールの水がにごる問題を解消するために井戸水から上水に切り替える予算について、水のにごりの原因が分からないまま予算化

することは問題ではないかという意見が出されました。

【意見への説明】

水質検査を実施している業者に確認したところ、井戸水の鉄分等が消毒用塩素と反応することにより水のにごりが生じるケースがあるとのことでした。また、宝城中学校の井戸水を取り塩素を入れたものと、入れないものとの経過を見たところ塩素を入れた方に変色が見られたため、井戸水を上水に切り替える事で改善できると判断しましたとの説明がありました。

校舎改築

【委員間討議】

三国小学校の校舎改築予算については教室数を増やす事は必要だが、今後も児童数の増加が続くため、来年度以降は大丈夫か、また特別教室も普通教室として使うと聞いているので教育条件整備としてもう少し予算を増やして対応すべきではないかという意見が出されました。

【意見への説明】

三国小学校の今後の児童数の見通しですが、簡保レクセンター跡地の新しい団地については、通学区区域審議会にて審議を終え、通学区域をのぞみ丘小学校とします。また三国校区公民館南側の新しい団地の通学区域は三国小学校の予定で、平成30年頃に1クラス増となる見込みです。特別教室を普通教室として使う期間については、平成27年度実施の改修工事中を予定しています。また、教育環境の改善を図るため、来年度中に2期目の工事を実施し、第2理科室を含めて5教室程度を増築し平成28年4月から使用できるように検討していききたいとの説明がありました。

商業活性化

【委員間討議】

新しい事業予算として商業活性化支援事業補助金175万円が提案されましたが、執行部から受けた説明では事業内容について具体的なイメージ

がつかめませんでした。商業活性化への効果について再度詳しい説明が聞きたいという意見が出されました。

【意見への説明】

以前に作成した商業活性化構想の中で今後の方向性の一つとして、「小グループ共同事業への支援による活性化」が上げられています。商業活性化協議会の中でも市の方からこういった手立てが有効ではないかと提案してきた経緯があり、小郡駅前だけでなく各地域の小グループで商業活動を推進してもらい、点的な商業の動きを広げていく事を意図した事業予算ですという説明がありました。



コミュニティバス

【委員間討議】

コミュニティバスの補助金予算に関連し、バスの目的が福祉バスから市民の足へと変わってきたことから、路線等の変更についてアンケート実施や会議などに取り組むための予算が必要ではないかという意見が出されました。この点については担当課に早く検討するよう委員長、副委員長で申し入れを行っております。



▲コミュニティバス

観光

【委員間討議】

観光推進関連予算では、商工・企業立地課と観光協会が進めている観光ルート設定などの施策と遺跡等を中心に文化財課が取り組んでいる施策との連携が取れていない状況です。

本市の観光行政を進めるためには両者の連携を強化すべきという意見は、昨年の決算審査特別委員会においても出され、執行部に申し入れを行いました。また、執行部に対しては、引き続き、関係各課に対して連携するよう強く申し入れを行いました。



総合管理計画

【委員間討議】

公共施設等総合管理計画は平成28年度までに策定する事が国の方針として決まっています。そのため、策定にかかるとの業務委託等の関連予算については認めますが、今後も維持管理等を含めた将来負担の軽減を行うため、計画策定完了後もそのチェックが必要です。

また、今年度策定する第5次総合振興計画の後期計画において公共施設のあり方を含めた議論を十分に行うべきであるという意見ができました。今後、この点については議会としても議論を重ねるとともに、執行部に対しては十分な説明を求めていきます。

議員研修

「障害児教育について」

保健福祉常任委員会の企画で平成27年2月16日に、小郡市下岩田にある小郡特別支援学校で議員研修を行いました。校章に銀色の梅の五弁の花びらを基調に友情と協力、障害のある子どもたちが互いに手をつなぎ障害を改善・克服していく願いがこめられて、昭和54年1月1日開校されました。

現在、小学部32名、中学部42名、高等部105名（知的障害139名、肢体18名、訪問教育22名）の総生徒数179名が自立を目指し日々学んでいます。本人が出来ることを伸ばし、出来ないところは助け合う仕組みを作り、特に中学部と高等部では作業を中心に農芸・木工・紙工・陶芸・さをり織教室・介護福祉などを学び、またパソコン入力検定試験にチャレンジするなどによって生徒の感情が豊かになり教育の効果が表れているそうです。



支援学校の地域連携として、保育園や小学校では発達障害及び困難性のある生徒が全体の6.5%いると言われており、教育委員会からの依頼を受け先生・保護者・本人が学校へ来られ相談を受ける活動や、巡回相談も多く、また小学校・中学校の先生約150名の参加を得て夏と秋に研修会も開催されています。

今後子ども達を共に育んでいく支援体制を構築していく必要があります。また自立するために親から離れて生活するためのケアホーム・グループホームが少ない実態もあることから、現状を充分把握し改善を図っていく必要性を強く感じました。

議会も仮移転します

市役所本館耐震補強工事のため、5月7日より12月28日まで、議会関係施設も仮庁舎となる元九州情報大学小郡キャンパスに仮移転します。

そのため、6月議会、9月議会、12月議会は仮庁舎での開会となります。

※議会への郵便物はこれまで通り〒838-0198 小郡市小郡255番地1へお願いします。

